

事務事業名	空き家改修事業	所属部	政策企画部	所属課	うなん暮らし推進課	
総合計画体系	政策名	〈I〉みんなで築くまち〈協働・行政経営〉		所属G	定住・公共交通G	
	施策名	(02)移住・交流の推進		課長名	高田 浩二	
	目的:対象	市外の人・市民	意図	雲南市を好きになり、移住・定住してもらう。	電話番号	0854-40-1014 (内線) 2323
	基本事業名	(007)定住に向けた環境整備		担当者名	桑原 真由美	
目的:対象	市外の人・市民	意図	良好な環境で暮らしてもらう。	予算科目	会計 款 大事業 大事業名 0 1 1 0 0 3 項 目 中事業 中事業名 0 5 6 5 7 0 定住対策促進事業 空き家改修事業補助金	

1 現状把握【DO】

(1)事業概要

① 事業期間
<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (21年度～)
<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度～年度)
② 事業内容 (期間限定複数年度事業は全体像を記述)
本市への定住を目的に改修を行う場合に、その費用の一部を助成する。但し、雲南市空き家登録制度の登録物件であること。補助率:1/2以内 補助金上限:50万円 子育て世帯:100万円

(2)事務事業の手段・指標

手段	① 主な活動	30年度実績(30年度に行った主な活動) 補助金交付数 7件	元年度計画(元年度に計画する主な活動) 補助金交付数(見込み) UIターン者 500千円×2件 子育て世帯 1,000千円×2件			
	② 活動指標	単位	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	元年度(計画)
	ア 補助金交付件数 UIターン者	件	3	1	3	2
	イ 補助金交付件数 子育て世帯	件	2	2	4	2
	ウ					
	エ					

(3)事務事業の目的・指標

目的	① 対象(誰、何を対象にしているのか)	③ 対象指標	単位	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	元年度(計画)
	空き家バンク物件	ア 空き家バンク登録件数	0	263	290	330	370
		イ					
		ウ					
	② 意図(対象がどのような状態になるのか)	④ 成果指標	単位	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	元年度(計画)
	空き家バンクの利用促進が図られ、UIターン者から活用される。	ア UIターン入居者数	人	3	2	5	2
		イ 子育て世帯入居者数	人	6	7	14	6
		ウ					

(4)事務事業のコスト

① 事業費の内訳 (30年度決算)	② コストの推移	単位	28年度(決算)	29年度(決算)	30年度(決算)	元年度(計画)
補助金 5,264千円	財源内訳	千円	1,249			
	国庫支出金	千円				
	県支出金	千円				
	地方債	千円				
	その他	千円	2,251	2,500	5,264	3,000
	一般財源	千円				
	事業費計(A)	千円	3,500	2,500	5,264	3,000
	人件費	人	1	1	1	
	正規職員従事人数	時間	320	320	320	
	延べ業務時間	千円	1,269	1,305	1,386	
	人件費計(B)	千円	4,769	3,805	6,650	
	トータルコスト(A)+(B)	千円				

(5)事務事業の環境変化、住民意見等

① 環境変化 (この事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?)	② 改革改善の経緯 (この事務事業に関してこれまでどのような改革改善をしているか?)	③ 関係者からの意見・要望 (この事務事業に対して市民、議会、事業対象者、利害関係者等からどんな意見や要望が寄せられているか?)
移住定住希望者の空き家ニーズは年々高まっている。一方で山間部を中心に後継者のいない世帯が増えており、空き家が増加している。	平成28年度、子育て世帯、補助金上限を100万円に引き上げ。	空き家は全国的に増加傾向であるため、空き家の有効活用方法を検討するようにとの意見がある。そのため、UIターン者に限らず、空き家の改修補助を求める声がある。

事務事業名	空き家改修事業	所属部	政策企画部	所属課	うんなん暮らし推進課
-------	---------	-----	-------	-----	------------

## 2 事後評価【SEE】

A 目的 妥当性	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？ 意図することが結びついているか？		見直し余地があると理由	
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている * 余地がある場合 →		
	② 公共関与の妥当性 なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して達成する目的か？			
B 有効性	③ 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加する必要はないか？意図を限定・拡充する必要はないか？			
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である * 余地がある場合 →		
	④ 成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか？ 成果を向上させるため現在より良いやり方ははないか？ 何が原因で成果向上が期待できないのか？			
C 効率性	<input type="checkbox"/> 向上余地がある	理由	今年度利用が伸び、予算額以上の問合せがあった。来年度も予算額以上の利用希望が既に予想されるため、予算額以上の成果余地はない。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない			
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 この事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？		理由	空き家有効活用低下が予想されるため。
<input type="checkbox"/> 影響無	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有			
D 公平性	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 目的達成には、この事務事業以外の手段(類似事業)はないか？ ある場合、その類似事業との統廃合・連携ができるか？		理由	
	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がある *ある場合 →	(具体的な手段や類似事業名)		エコ改修や、下水道設置改修補助 等
	<input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる	<input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない		<input type="checkbox"/> 他に手段がない
C 効率性	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)		理由	
	<input type="checkbox"/> 削減余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない		事業費と成果は直結しているため、成果を下げずに事業費を削減することは難しいため。
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 成果を下げずにやり方の工夫で延べ業務時間を削減できないか？ 正職員以外や外部委託ができないか？			理由
<input type="checkbox"/> 削減余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない			
D 公平性	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？ 受益者負担が公平・公正か？		理由	
	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input type="checkbox"/> 公平・公正である		1件当たりの補助金額が太く、一部の受益者に偏っている恐れがある。
評価 の 総 括	① 1次評価者としての評価結果		② 1次評価結果の総括(根拠と理由)	
	A 目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり		空き家の有効活用につながっており、雲南市の定住支援制度のPRにもなっている。
B 有効性	<input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり			
C 効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり			
D 公平性	<input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり			

## 3 今後の方向性【PLAN】

① 1次評価者としての事務事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可	② 改革・改善による期待成果																		
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	<table border="1"> <tr> <td></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td>●</td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>		コスト				削減	維持	増加	成果	向上	●		維持		×	低下	×	×
		コスト																	
	削減	維持	増加																
成果	向上	●																	
	維持		×																
	低下	×	×																
補助対象内容や補助金額について、他自治体との比較や検証を重ね、Uターン者の利用しやすく、公平な補助制度を引き続き検討する。	<p>廃止・休止の場合は記入不要。          コストが増加(新たに費やし)で成果が向上しない、もしくはコスト維持で成果低下では改革・改善とはならない。</p>																		